



オーディオアナライザ校正のご案内

2024年3月更新

弊社グループ会社マイクロウェーブファクトリー（株）にてオーディオプレジジョン社（米国）と同じ校正サービスを提供しております。米国試験認定協会（A2LA）から ISO/IEC-17025:2017 に基づく校正事業者の認定を受けております。



■校正（調整・修理可能）：

・ APx515, APx517, APx52x, APx555, APx58x, APX1701

Legacy シリーズ、B シリーズ含む

■校正サービス終了機種：

・ System One シリーズ

・ System Two シリーズ*注

SYS-20xx, -21xx, -22xx, -23xx, -24xx, -25xx, -26xx, -27xx

・ P1PA, P1D, ATS-1A, ATS-1DD, ATS-2

校正納期：ご依頼を頂いてから 約1～2週間

*注 Audio Precision 社では System Two Cascade Plus, SYS-2700 シリーズの校正・修理サービスを 2023 年 12 月に終了致しました。

📖 測定器の校正とは？ 校正が必要な理由

経年劣化等により誤差が生ずることがあります。その誤差が測定器の精度に影響しないことを確認するために定期的に校正する必要があります。校正作業を行うことにより測定器の状態を確認、立証することができます。

📖 トレサビリティ体系図付き校正サービス

精密な校正を行うには、校正作業で使用する測定器の状態も重要となります。これらの機器が絶対的な標準値とつながっていることを表すトレサビリティ（追跡性）が重要となります。オーディオアナライザ校正の際に使用する機器はアメリカ国立標準技術研究所（NIST）に結ばれており、校正結果の信頼性が取れております。

📖 校正周期につきまして

同じ測定器でもお客様の使用環境、使用頻度等により測定器への負荷変わりますので作業状況、校正管理規定によりお客様側で校正周期を設定ください。メーカーでは年1回の校正を推奨しております。メーカーの推奨周期より長い校正周期を設定される場合、測定器の異常を発見時期が遅れるというリスク、測定器の信頼性が低くなることもございます。これらを考慮した上で校正周期の時期の判断をしていただければと思います。

📖 測定器のお送り先

〒193-0985

東京都八王子市館町 8 1 5 - 1 拓殖大学マイクロ波研究棟 TEST LAB

マイクロウェーブファクトリー（株）内 AP担当 高野辺/川谷 宛

コーンズ テクノロジー株式会社

電子システム営業部

連絡先：03-5427-7566 cti-ap@cornes.jp